

2022年度 事業報告書

特定非営利活動法人 生涯学習サポート兵庫

1.事業の成果

別紙参照

2.事業実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象の範囲及び人数	支出額(千円)
青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業	無人島学校	通年	主に兵庫県内	100名	子ども一般成人 延1,300名	22,345
	子どもの冒険ひろば					
	カラフルプロジェクト					
	ひとりのできるもん					
	アウトドアクラブhako					
	逃走隊プロジェクト					
	シーズンキャンプ					
青少年の居場所づくり事業	生活困窮世帯の子どもを地域で支援事業	通年	主に兵庫県内	40名	子ども 延1,700名	8,795
生涯学習施設の運営管理に関する事業	神戸三田アウトドアビレッジ運営事業	通年	神戸三田 アウトドアビレッジ	15名	子ども一般成人 延9,000名 各種団体等 延50団体	55,523
子育てをしている人及び子育ての支援に関わる人や団体等を支援する事業	ひめじ森のようちえん	通年	主に兵庫県内	30名	子ども一般成人 延400名 各種団体等 延20団体	994
	子育て支援団体ネットワーク					
	ひょうご子ども応援ファンド					
生涯学習の普及啓発に関する事業	とにかく楽しい講師団事業	通年	主に兵庫県内	25名	各種団体等 延200団体	11,537
児童福祉法に基づく障がい児童通所支援事業及び、障害がい児相談支援事業	放課後等デイサービス事業	通年	主に姫路市内	8名	子ども 延1,200名	15,285
中間支援に関する事業	NPO広報支援事業	通年	生涯学習サポート 兵庫事務局	5名	各種団体 延20団体	987
	オトナチカラプロジェクト					
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	その他団体中間支援事業など	通年	生涯学習サポート 兵庫事務局	5名	各種団体 延50団体	5,356

2022年度事業報告

NPO法人 生涯学習サポート兵庫

●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

無人島学校

電気なし、水道なし、建物なし、持ち込む食料は水とお米と調味料のみ。無人島に渡り、一週間「生きる」ことをテーマに過ごす。2007年から毎年実施し、現在まで述べ1000人以上が参加。何もない無人島で仲間と共に生き抜く体験が、子どもたちの「生きる力」を育むと考えています。人間社会の原点であるアウトドアフィールドは、考える力を育み、本来の人のあり方をまなばせてくれます。

	開催	<ul style="list-style-type: none"> ■ 無人島学校 一週間自給自足生活挑戦！ 8月14日（日）～21日（日） ■ 親子無人島 9月3日（土）～4日（日） ■ 無人島ジュニア 9月17日（土）～19日（月）
	実施場所	事前セミナー：オンライン（zoom） 無人島学校：松島（県立いえしま自然体験センター管理） 事前、事後コーチング：オンライン（zoom）
	参加人数	39人 / 17組 / 10人
	2022年度の特徴と効果	昨年度に加えコーチングスタッフ、ファシリテータースタッフなど役割の違うスタッフを増やし、研修もおこなったうえで無人島に参加。フォロー体制をさらに強化し参加者の挑戦を後押しした。

カラフルプロジェクト

発達障がい児を対象として、日帰り活動から宿泊キャンプまで 季節を感じられる自然体験活動。『のびのびいっぽ』をテーマに「のびのび」と自分らしく安心してすごせること「いっぽ」を踏み出し挑戦し「できた！」「やった！」と成功体験を積み重ね、自信をつけられることを大切にしています。

	開催日	5/22（日） 7/31（日） 9/11（日） 11/27（日） 1/15（日） 3/5（日） 日帰り全6回 おとまりキャンプ 10/15（土）-16（日） 3/18（土）-19（日） 宿泊全2回
	実施場所	明石市立少年自然の家、加古川市立少年自然の家ほか
	参加人数	日帰り46人、おとまりキャンプ23人
	2022年度の特徴と効果	今年度より2か月に一度の日帰り活動をスタート。野外でおもいっきりあそび、体験することはもちろん、子どもたちの日常生活に活かせるチャレンジも、ボランティアスタッフとともにサポートした。また公共交通機関での移動支援も行い乗車が初めてという子もいて、障がいがある子どもの体験活動の場の必要性をさらに実感した。

ひとりでもできるもん！

小学1年生限定！はじめてだってできるもん！おうちを離れておとまりに挑戦だ！
「え！できるの！？」を「あ！できたね！」の笑顔にかえるはじめてのおとまり活動です。

	開催日	5/1だいいっぽ！ちょこっとキャンプ、7/23だいいっぽ！海へおでかけ 8/18-19おとまりマスター編、12/24-25クリスマスパーティー編、3/29-30おかいものマスター編
	実施場所	5月、8月、12月、3月：加古川市立少年自然の家 7月：海の家山下休憩所
	参加人数	5月：15人、7月：23人、8月：25人、12月：15人、3月：24人 のべ102人
	2022年度の特徴と効果	12月の活動ではクリスマスプレゼントを用意して枕元に！朝プレゼントに気づいた子どもたちは満面の笑顔でした。3月活動は「おかいもの」。スタッフがお店を開きレジ係もつとめ、計算が苦手な子も自分のペースで買い物をする事ができました。実際の買い物に近づけるため、本物のお金を使ったり領収書を発行したりと工夫し、おかいもの体験を行った。

アウトドアクラブ hako

「あそびのなかからまなぶ」SHOSAPOならではの魅力がギュッとつまった月に一度のアソートボックス。感性や個性をのばす「りとり」と、グループ活動でコミュニケーションをまなび「ぶらす」そして失敗を恐れず、目標に向かって一步踏み出す「チャレンジ」に分かれ、年間を通して季節を感じられるプログラムを展開

	開催日	りとり 26回 ぶらす 26回 チャレンジ8回 宿泊キャンプ1回
	実施場所	明石公園、明石市立少年自然の家、白浜海水浴場、八子高原、兎和野高原野外教育センター他
	参加人数	hakoメンバー159名 単発参加者 150名
	2022年度の特徴と効果	子どもだけで様々な体験ができると登録が増加。また2022年度より高学年向けの「チャレンジ」をスタート。新しいコースを作ることで幼児から参加していた子が、続けて参加できるようになった。「さんかカード」や申込のリマインドメールを毎月送るなど工夫したことで参加率が上がり、新たなコミュニケーションも増えた。

逃走隊プロジェクト

グループでハンターから逃げながら様々なミッションに挑戦する。クリアすることで、グループのメンバーが少しずつ「グループのことを考えた行動」ができるようになり、「同じ目標に向かう友だち（チーム）」になることをねらいとする

	開催日	春シーズン3回、秋シーズン3回、冬シーズン（田寺東子ども会）2回
	実施場所	明石公園
	参加人数	各30～40人
	2022年度の特徴と効果	今年度より企画から当日の進行まで、ボランティアリーダーによる企画チームが実施。事前の打合せや当日の振り返りなども自分たちで進行し、一緒につくりあげるとい一体感が生まれた。またプロテクターなどの安全装備も充実させ、楽しさとまなびと安全の要素を取り入れた企画を工夫した。

シーズンキャンプ 春

四季を感じながら子どもたちの「やりたい」を最大限に引き出し、様々な体験プログラムを実施
カヌーカヤック体験、アウトドアクッキング、秘密基地づくり、思い出工作等

	開催日	3/26-28 いえしまチャレンジキャンプ 4/2-4 トレジャーアイランドと輝く虹色の宝物！ 4/5-46 はじめてのおとまりキッズ★キャンプ 5/3-5 秘密基地キャンプ
	実施場所	兵庫県立いえしま自然体験センター 加古川市立少年自然の家 兵庫県立南但馬自然学校
	参加人数	73人
	2022年度の特徴と効果	春に幼児～低学年向けの「はじめてのおとまりキッズ★キャンプ」を追加で実施。次のキャンプにつながる入口となった。ゴールデンウィークには初めて南但馬自然学校で秘密基地キャンプを実施。新しいフィールドでの新たな企画も進めた。

シーズンキャンプ 夏

四季を感じながら子どもたちの「やりたい」を最大限に引き出し、様々な体験プログラムを実施

海あそび、カヌー、釣り、いかだづくり、クッキング、キャンプファイヤー、川あそび、ツリーイング、マウンテンバイク、思い出工作など



開催日	8/1・8/7：いえしまマリנטア－ 8/2-5：いえしまチャレンジキャンプ 8/8-10：SHOSAPO夏のストーリーキャンプ2022～海賊島と海の大冒険！～ 8/15-16：いえしま海をまんきつキャンプ 8/21-22：はじめてのおとまりキッズ★キャンプ 8/23-25：学校に泊まろうキャンプ 8/26-28：マウンテンアドベンチャーキャンプ 9/23-24：パパと子のわくどき★キャンプ
実施場所	いえしま自然体験センター、たかのす東小学校、リゾートロッヂ山水館他
参加人数	8/1：30人 8/7：26人 8/2-5：21人 8/8-10：25人 8/15-16：23人 8/21-22：26人 8/23-25：22人 8/26-28：23人 9/23-24：9組（22人）のべ218人
2022年度の 特徴と効果	天候にも恵まれ、ほとんどのキャンプで予定通りのプログラムを実施することができた。毎年恒例のキャンプに加え、様々な年齢を対象とした特徴の違ったキャンプを企画したことで、リピーターも増加した。

シーズンキャンプ 冬

四季を感じながら子どもたちの「やりたい」を最大限に引き出し、様々な体験プログラムを実施。

雪あそび、スキーなど



開催日	12/28-30 スキーまんきつキャンプ 1/7-9 スノーアドベンチャーキャンプ 2/18・2/23 スノーフェスティバル 雪あそびコース、スキーコース
実施場所	八チ高原 リゾートロッヂ山水館 兵庫県立兔和野高原野外教育センター
参加人数	132人
2022年度の 特徴と効果	積雪に恵まれ、雪あそび、スキー共に予定通り実施。スキーキャンプはリピーターが多く、去年よりもクラスが上がることを喜ぶ様子が見られた。新たに2泊3日の雪あそびキャンプを実施し、かまくらづくり、雪像づくりなどのゆったりとしたプログラムも行った。

●青少年の居場所づくり事業

生活困窮世帯の子どもを地域で支援事業

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援を通して学習や生活習慣の獲得の支援、及び子どもが安心できる居場所づくり

（担当部署：兵庫県健康福祉部社会福祉局地域福祉課地域福祉班）



開催日	各町 週1回
実施場所	兵庫県内（12町）：猪名川町、多可町、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、太子町上郡町、香美町、※佐用町、新温泉町（未実施）
参加人数	延べ1672人
2022年度の 特徴と効果	熱心なコーディネーターとボランティアの関わりもあり、あそびの時間と学びの時間のメリハリをつけた居場所づくりができた。特に調理実習は各町とも子どもたちにとっても人気がある。保護者向けのアンケートからも毎週のスクールを楽しみにしているとの声が多く寄せられた。

●生涯学習施設の運営管理に関する事業

神戸三田アウトドアビレッジTEMIL

非日常の空間の中で、「不便を楽しむ」ことをコンセプトに、子どもも大人も「やってみたい」にチャレンジする場。ファミリー向けのプランのほか、企業向けの研修プランやスポーツ団体向けプラン、学校向けプランなどを提供。

	開催日	通年
	実施場所	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
	参加人数	利用者数 約8,000人
	2022年度の 特徴と効果	ソロテントを利用した中高校生の宿泊研修やスポーツ団体の利用が増え、コロナ前の賑わいを感じることができた1年であった。昨年度に引き続き、家族時間、家族の共有体験を応援する【ファミリープラン】の利用も増え、またリピートする方も増えた。

キッズのための週末プログラム MIKKE

SHOSAPOの「あそび」とTEMILの「自然」が奏でる、月に一度のスペシャルDAY！子どもたちが夢中になってチャレンジできる、がむしゃらにあそぶ1日をお届けします！ママやパパにも月に一度のリフレッシュDAYを！

	開催日	10回
	実施場所	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
	参加人数	のべ217人
	2022年度の 特徴と効果	昨年度からの継続登録者も多く、新たなプログラムにもチャレンジした一年となった。5歳から13歳までの幅広い年齢の子どもたちが参加。活動を通して異年齢間の交流もあり、子ども同士が自然とサポートしあう姿が印象的であった。

森のお泊まり学童

ひとり親家庭が抱える長期休みにおける子どもたちの預け先問題のサポートを行う。「預ける」=申し訳ないではなく、「ありがとう」に変えていく。また「学ぶ」「遊ぶ」のメリハリ、基本的な生活習慣を身につけながらも自然の中での体験を大切にします。

	開催日	(夏) 8/16-20、8/25-28 (冬) 12/26-30、1/5-9 (春) 3/26-30、4/2-5
	実施場所	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
	参加人数	のべ175人
	2022年度の 特徴と効果	今年度から【森をあそぶ5日】【森でまなぶ4日】2つのテーマで実施した。【森をあそぶ5日】では、ニュースポーツや隠れ家づくりに挑戦。【森でまなぶ4日】では、エコクッキングやエコクラフトにも取り組んだ。ボランティアも積極的に子どもたちと関わり、勉強を教えたり、一緒に考えたりする姿がみられた。

さんだ森のおさんぽ会

親子で季節の移り変わりを感じながら、お散歩したり、思いっきりあそんだり、ものづくりに夢中になったり…ゆったりとした気持ちで子どもとの時間を共有する、月1回の親子を対象とした自然体験ワークショップ。

	開催日	年間10回
	実施場所	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
	参加人数	のべ118組
	2022年度の 特徴と効果	ナビゲーターに新たに保育士（ハク）を迎え、森の絵本じかん・森のおさんぽの時間が充実した1年。子どもたちの「やってみたい」が十分に満たされる森じかんとなった。コロナが落ち着いたこともあり、月を追うごとに参加組数も増え、毎月新しい家族を迎えながら、四季の移り変わりの中で森あそびを楽しむことができた。

MORINOWA



子どもたちの「はじめて」とママたちの「気づき」がまつた森じかん。ココロとカラダを緩やかに、子どもたちとゆったり過ごせる時間をお届けします。

開催日	年間5回
実施場所	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
参加人数	のべ15組
2022年度の特徴と効果	今年度初めての試みとして「ひょうごボランティア基金助成」を活用して実施。天気や子どもの体調などにより、各回の参加組数は少なかったが、参加したママにとっては、ゆるやかに子どもたちと過ごしなが、リフレッシュできる時間となった。

シーズンキャンプinさんだ

子どもたちの「やってみたい」を様々なテーマのチャレンジで実践する自然体験プログラム。

「まんきつキャンプ（夏冬）」「アウトドアマスターキャンプ（夏冬）」「ナツスタキャンプ」「週末イベント（越冬昆虫観察会、投火採集）」他



開催日	7/17-18 : 夏の森をまんきつキャンプ 12/25-26 : 冬の森をまんきつキャンプ 9/17-19 : アウトドアマスターキャンプ（夏） 1/28-29 : アウトドアマスターキャンプ（冬） 8/1-3 : ナツスタ★キャンプ 7/2、8/11 : 集まれ！昆虫好き！投火採集 11/20、2/5 : 集まれ！昆虫好き！越冬昆虫観察会
実施場所	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
参加人数	（まんきつキャンプ）のべ35人（アウトドアマスターキャンプ）のべ15人 （ナツスタ★キャンプ）13人（週末イベント）のべ95組
2022年度の特徴と効果	アウトドアマスターキャンプでは、「ポリ袋クッキング」や「ロープの結び方」など、緊急時に役立つ技を体験しながら学習することができた。また、週末イベントは申し込みスタートと同時に定員になるほど人気で、子どもはもちろん、大人が夢中になって参加し、「なぜ？」「なるほど」という表情を多く見る機会になった。

●子育てをしている人及び子育ての支援に関わる人や団体等を支援する事業

ひめじ森のようちえん

【ひめじ森のようちえん】

未就学児の親子で参加する“親子のための自然体験プログラム” 非日常を感じられる自然豊かな森の中で、のんびりと1日過ごします。ナビゲーターによる森さんぽや、親子でチャレンジできる様々なアウトドアプログラムを行います。季節の移り変わりと共に、家族みんなで成長を感じられる特別な森じかんをお届けします。

【0さいからの森あそび いっぱいっぱい】

未就園児の親子で参加する“0歳からの自然体験ワークショップ” はじめてのおさんぽに はじめての発見に はじめての「できた！」いっぱい「はじめて」がぎゅぎゅとつまった特別な森じかんをお届けしています。



開催日	ひめじ森のようちえん：年間10回 いっぱいっぱい：年間11回
実施場所	太子遊びと冒険の森【ASOBO】
参加人数	392人
2022年度の特徴と効果	【森のようちえん】：今年は特に「親子の心をつなぐ森じかん」をテーマにプログラムを実施。親子で安心してチャレンジする姿が多く見られた。また今年で10周年を迎え、記念イベントを開催。現在大学生や高校生になった参加者家族の参加もあり、10年という時の深さを感じた1日だった。 【いっぱい】：平日の10時～13時に就園前の子どもを対象に毎月実施。子どもと2人ではなかなか出掛けにくい、いっぱいなら安心して参加できる！という声もいただく。参加者同士、子育ての話をしたり、成長を喜んだり親の居場所にもなった。

●生涯学習の普及啓発に関する事業

SHOSAPO講師団

未就園児親子から高齢者まで幅広い世代を対象に、講演、研修、レクリエーション、親子あそび、オンラインレクリエーションなどを行う。多くの「まなび」が隠された体験プログラム＝「あそびプログラム」を提供。

活動は兵庫県を主として近畿圏を中心に、オンラインでは北海道から宮崎まで全国に渡る

	依頼先	子育て支援施設、学校、PTA、公的機関、NPO団体等
	件数	200件
	2022年度の特徴と効果	今年是对面での依頼も増え、自然学校への講師依頼も復活した。兵庫県から「オンラインこども塾」を受託し、これまでのノウハウを活かしたファミリー-逃走隊などを企画。オンラインとの上手な付き合い方、親子での共感体験の大切さなどを伝えた。また新たにロング巻き寿司やレンチンカップケーキなどのオンラインレクリエーションも行った。

●児童福祉法に基づく障がい児童通所支援事業及び、障害児相談支援事業

放課後等サービス事業 GreenWood

6歳から18歳までの障害児を対象とした障害児通所支援事業。自立に向けた発達支援、「あそび」を通して社会生活や集団生活における社会性や協調性を育むための療育を行っている。主体性を尊重した自己選択・自己決定や「利用者が安心できる居場所」「自分らしくいられる居場所」を大切に活動している。

	開催日	通年（土日祝、8月13～16日、12月28日～1月3日を除く）、218回開所
	実施場所	放課後等サービスGreenWood
	参加人数	延べ1,214人
	2022年度の特徴と効果	今年から利用曜日の固定化を図った。毎週同じ友だちと過ごすことで仲が深まり、会話も増えた。利用者の人数も把握しやすくなり運営がしやすくなった。心身の成長も見られる中で、学校に行けなくなる利用者も増えている。そんな中でもGreenWoodは「来たい」と言って来所している子が多く、安心できる場所としては機能出来ていると感じた。

●中間支援に関する事業

NPO広報支援事業

一緒に考え、一緒につくる。あそびゴコロを大切に「つくる」楽しみを大切に、そしてその効果と一緒に喜ぶことのできるモノづくりをめざしています。 作成物（チラシ、リーフレット、パンフレットなど）

	依頼先	ワークショップリゾート、小野市ゴルフ協会、パナソニックハウジングソリューションズ他
	件数	外注16件
	2022年度の特徴と効果	野外活動団体の参加者募集チラシをはじめ、ゴルフ協会、労働組合の記念事業案内など多種多様なご依頼に対応した。野外宿泊施設の案内マップ制作の依頼には、より見やすい内容になるように提案を重ね、満足していただけるカタチに仕上がった。